

■ LANIO シリーズ アナログ入力/出力モデル 仕様

モデル名	LA-2R3A	LA-2R3A(V2)	LA-2A3P-P	LA-3A2P-P
リレー出力(1a接点) <sup>※1</sup> 制御電圧:AC250V/DC30V <sup>※2</sup> 最大電荷:5A/1点(抵抗負荷)	2点		—	
ドライ接点入力 定格入力抵抗: off→on : 1kΩ 以下 on→off : 10kΩ 以上	—		3点	2点
シングルエンド アナログ入力	3点		—	
シングルエンド アナログ出力	—		2点	3点
入出力用電源	—		DC12V 内蔵	
入出力端子台	着脱式 ヨーロピアン端子台、5.08mmピッチ 10極 適合電線：単線、より線(棒端子使用)AWG24~12 電線被覆剥きしろ5mm 締め付けトルク0.5Nm			
入出力表示LED	出力: 2個 入力: 3個		出力: 2個 出力モード: 2個 入力: 3個	出力: 3個 出力モード: 3個 入力: 2個
LANインターフェイス	RJ45コネクタ 10Base-T/100Base-TX自動検知 Ethernet: IEEE 802.3			
LANプロトコル <sup>※3</sup>	TCP/IP, UDP/IP, ARP, ICMP, SNMP, Telnet, DHCP, BOOTP, HTTP, SMTP			
LAN状態表示	RJ45コネクタ部2色LED : 2個、10Base-T/100Base-TX、 接続状態を表示(通信中、アイドル、全2重Full duplex、半2重Half duplex)			
ポート番号 <sup>※4</sup>	10003 <sup>※5</sup> , 30718 <sup>※6</sup>			
機器ID設定	No.0~15 (16ポジション ロータリースイッチで選択) <sup>※7</sup>			
メールアラート機能 対応入力	AI1 ~ AI3 <sup>※8</sup>		DI1 ~ DI3 <sup>※9</sup>	DI1 ~ DI2 <sup>※9</sup>
入出力延長機能 <sup>※10</sup> 対応入出力	AI1 ~ AI2 DO1 ~ DO2	AI1 ~ AI3 DO1 ~ DO2	AO1 ~ AO2 DI1 ~ DI2	AO1 ~ AO3 DI1 ~ DI2
その他の機能	—	熱電対温度測定 <sup>※11</sup> DOアラート機能 <sup>※12</sup>	—	—
電源	DC8~30V 無極性 DC-IN1 (ACアダプタジャック)またはDC-IN2(ピンヘッダ型2pinコネクタ)の2系統入力 <sup>※13</sup>			
消費電力	最大 3.0 W		最大 3.5W	最大 4.0W
温湿度条件	動作温度 : -20~55℃、保存温度 : -25~75℃、 湿度条件 : 10~95%RH(結露しないこと)			
使用雰囲気	引火性ガスや腐食性ガスがないこと、ほこり(特に導電性のもの)がひどくないこと			
耐ノイズ	ノイズシミュレータにて±1500Vp-p、パルス幅 50nS/1μS、ノーマル/コモンモード			
耐電圧	AC2000V、1分間 リレー出力一括と筐体間 リレー出力一括と電源一括間、リレー出力一括と入力一括間			
絶縁抵抗	DC500Vメガにて50MΩ以上 入力/出力一括と筐体間、入出力一括と電源一括			
寸法・質量	74×106×30mm(W×D×H)、約280g			
取付方法	据え置き、または、本体の裏面のM3ネジ穴を利用して固定、 別売りのDIN取付プレート(型番 : SI-DIN70 / SI-DIN30)を使用して 35mmDINレールに取付可能			
付属品	ユーティリティ&サンプルソフトCD, 電源ケーブル, 取扱説明書, 保証書			

- ※1: リレーの電氣的接点寿命は、最大負荷時10万回以上(抵抗負荷、開閉頻度20回/分)です。
- ※2: DC負荷に対する接点最大許容電圧は、DC110V(0.3A)です。
- ※3: TCP/IP、UDP/IP以外のプロトコルはユーザーアプリケーションでは使用できません。
- ※4: セキュリティポリシーなどの関係から該当TCP/UDPポートへのアクセスがソフトウェアファイアウォールなどによってブロックされている場合、通信を許可するように設定を変更して下さい。  
同様に、ルーター機器などを中継する場合も該当TCP/UDPポートでの通信を許可にるようにして下さい。
- ※5: WELL KNOWN PORT NUMBERS 以外の任意のポート番号に変更可能です。
- ※6: LANIOユニットの検索を行わず、IPアドレスにて直接接続を行う場合不要です。
- ※7: 入力延長機能設定用にNo.15(F)を利用するので機器IDとして利用できるのはNo.0~14となります。
- ※8: 対応する入力のいずれか(複数指定可)が事前に指定したアナログ入力値になった時にメールアラート機能が動作します。
- ※9: 対応する接点のいずれか(複数指定可)がon(またはoff)になった時に1点のメールアラート機能が動作します。
- ※10: パソコンの介在なしに1対1のネットワーク経由で入出力の延長が可能です。
- ※11: 熱電対(K,J,T,E,N,R,S,B タイプ)をアナログ入力端子に接続することで温度測定が可能です。
- ※12: パソコンの介在なしに、事前に指定した閾値条件とアナログ入力値を比較し、リレー出力を自動制御することが可能です。
- ※13: DC-IN2は、付属の電源ケーブルまたは別売りの電源分岐ケーブルが適合します。  
ケーブルを自作される場合は、AWG#24~22サイズの電線および、日本圧着端子製造(株)製ハウジング(XHP-2)と圧着コンタクト(SXH-001T-PO.6)を使用して下さい。